

【左京区】無鄰菴、並河靖之七宝記念館
小川治兵衛の名庭を訪ねて

定員：30名



19世紀後半、日本は江戸から明治に移る転換期でした。東山の借景と琵琶湖疏水の引込みを活かすなど、日本庭園の伝統を守りつつ新しいスタイルを取り入れた小川治兵衛（屋号：植治）の功績は、日本庭園を語るうえで欠かせないものです。

本ツアーは数々の名園を残した作庭家7代目小川治兵衛の庭を、植治次期12代目である小川勝章の解説で巡る特別ツアーです。

無鄰菴

行程

- 10:00（集合） 地下鉄東山駅 改札前
- 10:10 - 11:55 並河靖之七宝記念館 見学 ……徒歩……
- 12:10 - 13:25 昼食（南禅寺 順正） ……徒歩……
- 13:30 - 16:00 無鄰菴 見学 ……徒歩……（現地解散）

※行程は予告なしに変更することがあります

〈注意事項〉本コースは庭園を散策するため、ハイヒールは避け、歩きやすい靴でご参加ください。入室見学があるため、靴下を着用してください。

並河靖之七宝記念館：明治から大正時代の日本を代表する七宝家、並河靖之の記念館。並河家に伝わる七宝作品（国登録有形文化財）や、旧邸宅や工房（国登録有形文化財）とともに、七代目小川治兵衛が初期に手がけた庭園（京都市指定名勝）では、多くの灯籠や石・木を用いた意欲的な作庭を見ることができます。

南禅寺 順正：ご昼食には「ゆどうふ」をご用意。また、順正書院や回遊式庭園などもお楽しみいただけます。

無鄰菴：1894～1896年に造営された明治・大正時代の政治家山縣有朋の別荘です。庭園と母屋・洋館・茶室の3つの建物によって構成されています。施主山縣有朋の入念な指示に基づいて、7代目小川治兵衛が作庭した庭園は、近代日本庭園の傑作とされます。本コースでは、お部屋でくつろぎながら解説を聴き、庭園散策します。



植治次期十二代 小川勝章氏



並河靖之七宝記念館



順正（ゆどうふ昼食）